

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 坪内 清	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	総合周産期母子医療センターとしての医療の実施（中央病院）		
目的	(1) 対象	周産期医療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	総合周産期母子医療センターに搬送される重症の妊産婦・新生児を受け入れて、適時・適切な医療・看護を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		妊産婦・新生児受入数/妊産婦・新生児搬送数	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

他病院での分娩取り扱いが縮小・廃止される一方、里帰り出産を再開した医療機関もあり、平成26年度の分娩件数は989件と前年を下回ったものの、県内唯一の総合周産期母子医療センターとしての中央病院の役割は重要であり、変わらない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊娠・出産や高度な医療を必要とする新生児への医療を提供している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

総合周産期母子医療センターとして24時間体制で重症の妊産婦・新生児を受け入れているが、24時間体制での受け入れは、医師等医療従事者の負担が大きいことから、適切な医療従事者の確保が必要である。

②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が全国的に困難な状況が続いている。

③原因を解消するための「課題」

総合周産期母子医療センターとしての医療機能を充実するため、産婦人科医師・小児科医師・新生児科医師等医療従事者の安定的な確保が必要である。とりわけ、正規医師退職後採用に至らない小児外科医師の確保は喫緊の課題である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）